

平成 30 年度 多様な新ニーズに対応する 「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン インテンシブコースセミナー

日 時: 2018 年 11 月 27 日(火) 13:00~17:00

場 所: 兵庫県立大学 明石看護キャンパス (演習室 406)

テーマ: 緩和ケアにおける症状マネジメント Up to date

講演 A: 消化器症状および呼吸器症状のコントロール

講 師: 安保 博文先生(国家公務員共済組合連合会六甲病院 緩和ケア内科部長)

受講者: 6 名

アンケート回収: 6 名 (回収率 100%)

主 催: 兵庫県立大学看護学研究科 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材
(がんプロフェッショナル)」養成プラン代表 内布敦子



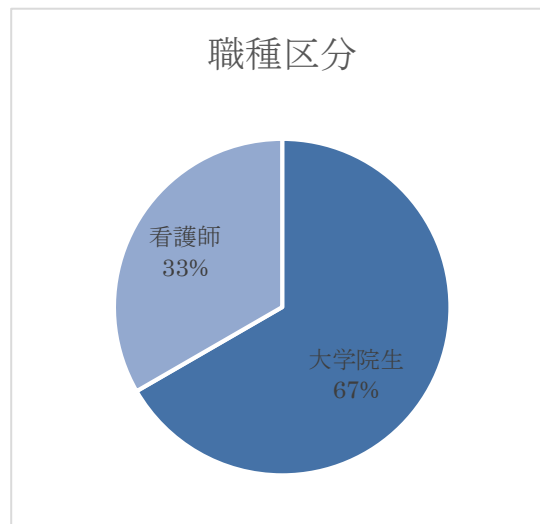
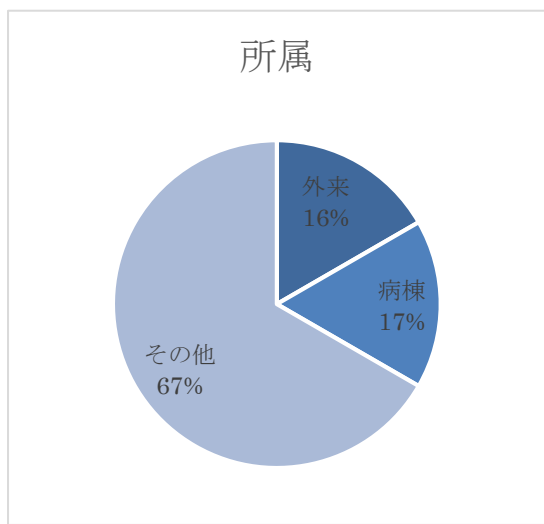
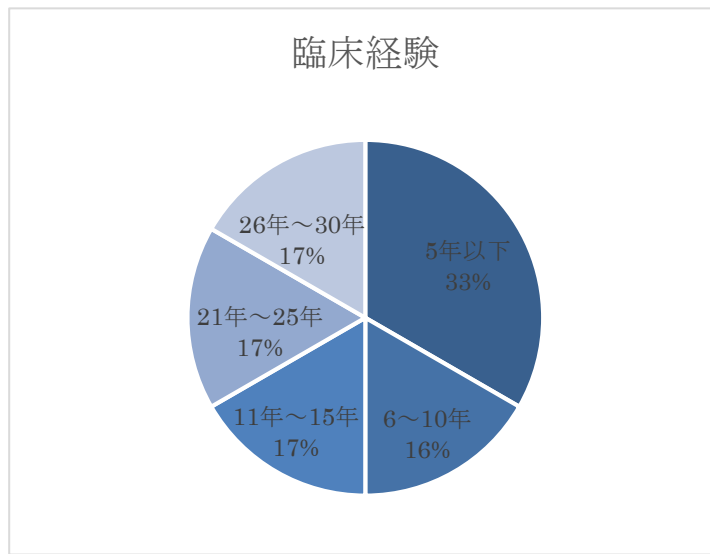
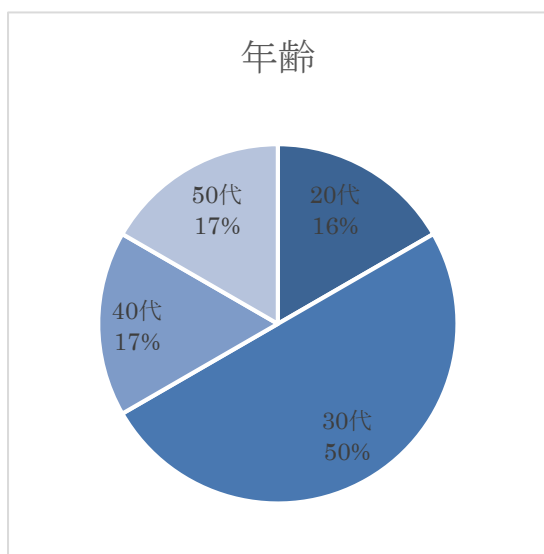
<概要>

六甲病院 緩和ケア内科部長 安保 博文先生から緩和医療学概論特別講義として、「緩和ケアにおける症状マネジメント Up to date」の講演 A「消化器症状および呼吸器症状のコントロール」についてお話を頂きました。がん進行期の呼吸困難を抱える患者を例に、どのように呼吸困難を和らげていくか、症状のコントロールをはじめ、不眠や不安を取り除く方法まで様々な方法で検討することについて実践的で詳しいお話もありました。

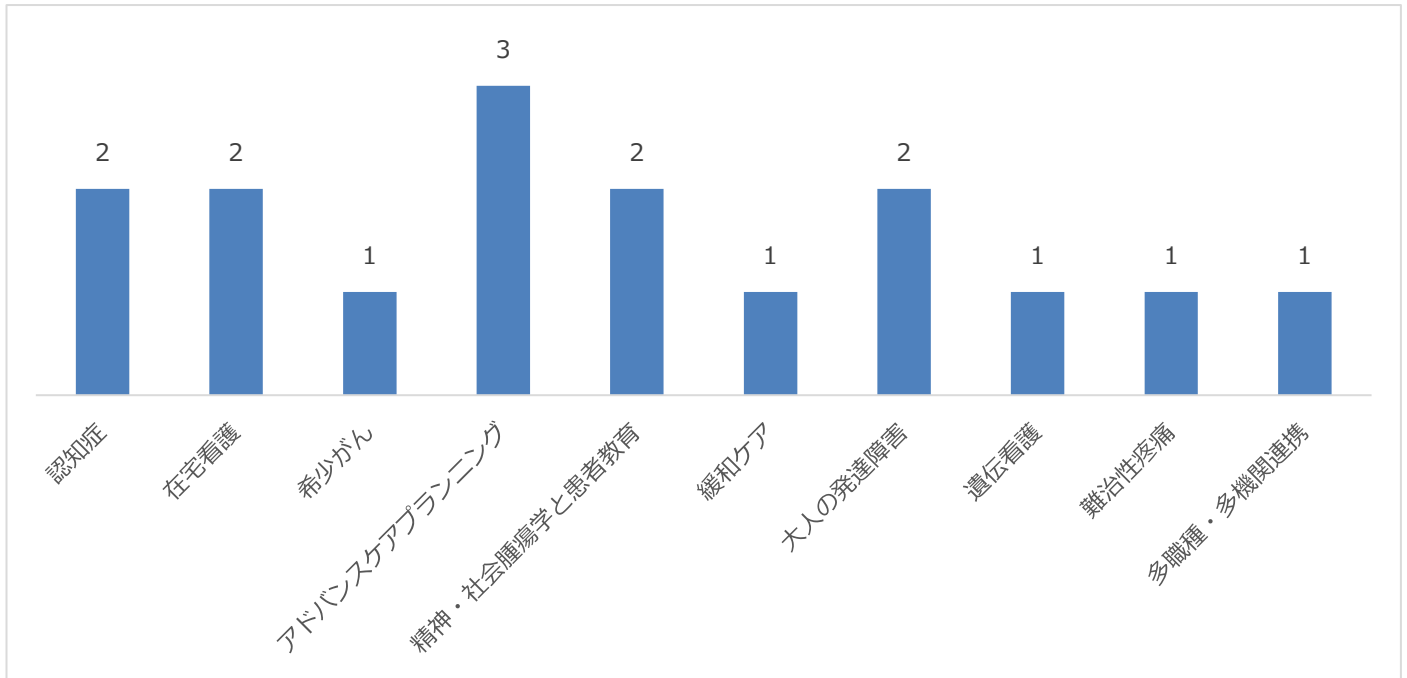
参加者には、呼吸困難、嘔気、消化器閉塞、せん妄、不眠についての事例と疑問点をあげる課題が出されており、それぞれどのような対処方法が考えられるのかについて先生からもお話があり、緩和ケアにおける様々な状況について丁寧に考えることができる時間となりました。

<アンケート結果>

●参加者について



●今後、セミナーに期待するテーマ



●参加者からのコメントより

▼今回のセミナーで、あなたが感じたこと、印象に残ったことがあれば自由にお書きください。

- 病態生理からご説明いただきすごくわかりやすく、また医療現場で活用できる情報を知ることができとても勉強になりました。
- 病棟勤務で経験した時の対応困難の話を聞いて良かったと思う
- 安保先生から休み時間に聞かせていただいた緩和ケアの目標や役割が本当にそうだなあと改めて感じました。
- 「すべての症状を緩和することが目的でなく、困難な状況をとともに少しでもできることを行っていくプロセスを大事にすること」これを聞いてまた気持ちを新たにしっかりコミュニケーションをとって頑張っていきたいと思いました。ありがとうございました。
- その人(患者さんの)目標が何であるか、これを押さえて体の反応をコントロールする、ということをしっかりおぼえておこうと思いました。
- 実践的な内容で、とても症例の理解が進み、どういう風に症例をとらえ対応をしていくのかを知ることができました。
- 症状に対しての治療、メカニズム、ケアについての考え方がとても分かりやすく講義していただきました。

▼がん患者の緩和ケアにおいて、今、最も強く感じている課題をお書きください。

- 看護師として出来ることもたくさんあると思った。
- Dr も Ns も、せん妄時のくすりの使い方や考え方や知識が現場でまちまちである。医師との方針の共有がいつも難しいです(緩和ケアでなく消化器 Dr との、もう治療はできないと思われる症例(メリットが得られない etc)などの意見の食い違い)
- 「QOL の向上」という目標をスタッフが共有して、患者主体の看護をするだけの入院期間がないように思います。
- 患者さんにしっかり向き合えるような看護体制

